

# CON · CERT

walking from +1art to +2



TANIMACHI STREET

11/3(水) - 11/21(日)

PM12 - 7

休廊：日・月・火

\*11/21(日)は予約制で開廊

<コンサートからコン・サートへ>  
参加作家によるトーク & ヒアリング

11/21(日)

予約制 ①12:00-14:00 10名

②15:00-17:00 10名

予約・お問い合わせ +1art (gal@plus1art.jp)

\*諸事情により予定を変更する場合があります。  
詳細はwebにてご確認ください。

「コンサート concert」。イタリア語の「コンチェルト concerto」に由来する語である。さらにはラテン語にまで遡ることができ、「争い・議論 concertātiō」や「絆・協力 consortiō」といった語と同根だと考えられている。英語でも「演奏会」だけでなく、「一致」「協力」「調和」といった意味を有し、動詞の場合には「合意のもとに調整する・協定する」といった意味になる。英和辞書の中には、「共に con」「努力する cert」と解説しているものもある。

音楽を演奏するというのは常に専門家だけに許された行為だったのだろうか。そうではない。商業的な演奏会が登場する以前から、音楽愛好家たちは私的に音楽を楽しんでいた。「コンサート」という言葉が意味するとおり、複数の人が集まり、共に自らの手で音楽を奏でていたのである。

+1artは舞台袖になる。反対側の舞台袖は+2だ。二つの舞台袖の間にある街が、この「コン・サート」のステージである。

コンサートとは、観客や出演者といった役割に関わらず、複数の人々が集まって（ときに争いながらも）共に何かをすることなのである。

- 藤本 由紀夫 FUJIMOTO Yukio
- 小寺 未知留 KODERA Michiru
- 佐藤 雄飛 SATO Yuhi
- 林 葵衣 HAYASHI Aoi
- 山本 雄教 YAMAMOTO Yukyo
- カワラギ KAWARAGI
- 野口ちとせ NOGUCHI Chitose

藤本 由紀夫 FUJIMOTO Yukio

1950年名古屋生まれ。大阪芸術大学音楽学科卒。  
80年代半ばより日常のなかの「音」に着目した装置、サウンド・オブジェを制作。インスタレーションやパフォーマンス、ワークショップを通じて、空間における「音」の体験から新たな認識へと開かれていくような活動を展開している。主なグループ展に2001年「第49回ヴェニス・ビエンナーレ」、2007年「第52回ヴェニス・ビエンナーレ」(ヴェニス)など。

小寺 未知留 KODERA Michiru

立命館大学文学部准教授。東京芸術大学大学院博士後期課程修了。博士(音楽学)。戦後米国の音楽理論家レナード・マイヤー(1918~2007)およびアーティストのマックス・ニューハウス(1939~2009)に関する研究を進めている。主な論文に、「レナード・マイヤーとニュー・ミュージコロジーの関係についての一考察」(2018、『音楽学』第63巻2号)、「マックス・ニューハウスは何を『音楽』と呼んだのか」(2021、『美学』第72巻1号)。

佐藤 雄飛 SATO Yuhi

アーティスト、デザイナー。1994年神戸市生まれ、京都市立芸術大学美術科卒業、同大学院美術研究科修了。シルクスクリーン、写真、3DCGなどを用いて作品を制作。

林 葵衣 HAYASHI Aoi

アーティスト。1988年京都生まれ。京都造形芸術大学卒、同大学院修了。  
身体と意識のズレの可視化をコンセプトに動作の反復や視覚と音声の関係を問い直す作品を制作。近年の活動として「画家の痕跡」(2021/高松市美術館・香川)、「VOCA展 2018 現代美術の展望・新しい平面の作家たち」(2018/上野の森美術館・東京)、個展「遊動軌」(2020/Gallery PARC・京都)がある。

山本 雄教 YAMAMOTO Yukyo

美術作家。1988年京都府生まれ。2010年成安造形大学造形美術科日本画クラス卒業。2013年京都造形芸術大学大学院修士課程ペインティング領域修了。  
「一枚の葉っぱが手に入ったら、宇宙全体が手に入るでしょう」という安田鞆彦の言葉のような、些細な対象が日常的な価値観を超え世界の一端に繋がっていくような感覚を求めて作品を制作。

カワラギ KAWARAGI

+1art、+2 ディレクター。見たことがない、聞いたことがないものに興味があります。コスバ悪い美術や音楽も好きです。宇宙人がいるなら、どんな美術や音楽を彼らはつくっているのだろうか?と、よく思います。

野口ちとせ NOGUCHI Chitose

+1art、+2 ディレクター。僻地の廢校に等身大の鉛筆を100本立てる《手に余る鉛筆計画》を進行中(2015-)。音を素材にした作品に《Requiem》《You say We》《KATA KOTO》などの「音・空・観」シリーズ(2003-2013)がある。

